

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社en-ciel 放課後等デイサービスひなた		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日		～ R7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達段階に合ったクラス編成をしている。	・個々の強みや課題に合わせた支援を丁寧に行うことができる。 ・高等部のお子さんについては、自立に向けた活動を主として行うことができる。 ・その瞬間に必要な支援を提供することができる。	・活動によっては、クラス内でもさらに小集団にすることで、個々の“できた”“できる”の達成感や自信に繋げていきたい。 ・就労事業所など、成人の事業所と連携を図り、活動に活かしていきたい。(高等部)
2	・ひなたに行くことを楽しみにしてもらっている。	・見通しや期待感が持ちやすいよう、次回の活動の予告をしている。 ・月間計画(お便り)でワクワクできる活動名を記載し、“楽しみ”に繋げている。	・今後も継続していくと共に、連絡帳等でも発信し、保護者の方にも協力していただく。
3	・個々に合わせた支援を提供している。	・職員間で連携を図り、個々の関わりについて情報共有、統一した支援をしている。 ・担任制を取り入れ、同じ職員が活動を作ることで、活動の展開がつながりやすい。	・今後も継続しながら、職員の質の向上にも努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーではない。	・民家をリフォームしており、構造上バリアフリーにすることが難しいところがある。	・再度事業所内でできる場所はないか確認し、過ごしやすい環境作りに努める。
2	・利用者の家族や(きょうだい等)地域の方との交流ができていない。	・開所1年目ということもあり、交流できる環境をまだ整えられていない。 ・集団や知らない人との交流に不安感を持つお子さんが多い。	・家族同士の交流については、次年度計画していく。
3	・SNS等での発信ができていない。	・ホームページがあるものの、活動の様子などは発信できていない。 ・個人情報の観点から、公開が難しい。	・面談の際に、写真付きで活動の様子をお伝えしていく。 ・外部への発信は保護者の承諾を得ながら検討していく。